国立大学法人鹿屋体育大学監事監査実施要項

〔平成16年4月1日〕
監事決裁
改正 令和4年2月2日

(趣旨)

第1条 この要項は、国立大学法人鹿屋体育大学監事監査規程（以下「規程」という。）第5条第2項の規定に基づき、監事が行う監査の手続き、その他規程の実施に関し必要な事項について定めるものとする。

(監査計画)

第2条 規程第7条に規定する監査計画に記載する事項は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 一 監査の基本方針
- 二 監査の実施期間
- 三 監査の方法
- 四 監査の対象部門
- 五 監査の重点項目及び実施項目
- 六 監査の補助者

(監査事項)

第3条 規程第3条に規定する監査の対象は、次の各号に掲げる事項とする。

- 一 関係法令、業務方法書、その他規程等の整備状況及び実施状況
- 二 中期計画の実施状況
- 三 組織運営及び人事管理の状況
- 四 決算（年次及び月次）の状況
- 五 予算の執行及び資金運用の状況
- 六 収入及び支出の状況
- 七 物品及び不動産の管理の状況
- 八 契約の状況
- 九 旅費の支出の状況
- 十 人件費の支給の状況
- 十一 前各号に掲げるもののほか業務に関する重要な事項

(監査実施の通知)

第4条 監事は、監査計画に基づき監査を実施するときは、予め監査対象部門の責任者に監査事項及び監査場所その他監査に必要な事項を通知する。

(監査手順)

第5条 規程第5条の規定に基づく監査の手順は、概ね次のとおりとする。

- 一 監査対象部門の長からの概況聴取
- 二 監査対象部門の担当者からの個別聴取
- 三 帳票その他証拠書類の原本確認
- 四 書類と現物との照合確認
- 五 現地の実査
- 六 監査終了後の講評

- 2 監査は、悉皆監査を原則とするが、事項の性質によっては、合理的な方法で抽出して実施するものとする。
- 3 監事は、必要があると認めるときは、監査対象部門に資料の作成を求めることができる。ただし、可能な限り、既存資料の活用を図るよう努めることとする。

(監査記録)

第6条 規程第6条第1項の規定により、監査の事務を補助する職員は、監査終了後、監査の結果の概要を記した監査記録を作成し、監事に提出するものとする。

(監査結果報告書)

第7条 規程第11条に規定する業務監査及び会計監査（年次監査）の監査結果報告書に記載する事項は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 一 監査結果の概要
- 二 是正又は改善を要する事項
- 三 その他必要と認める事項

(その他)

第8条 規程及びこの要項に定めるもののほか、監査の実施に関し必要な事項は、監事とその都度定めるものとする。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（令4.2.2）

この要項は、令和4年4月1日から施行する。